

(参考資料)

① 事業セグメント別の営業損益見通し

(単位:億円)

	平成16年度 (前回見通し)		平成16年度 (今回見通し)		平成15年度 実績 年度
	上期	年度	上期	年度	
鉄鋼事業	1,939	4,350	1,939	4,510	2,427
エンジニアリング事業	△ 97	60	△ 97	40	31
都市開発事業	7	20	7	21	14
LSI事業	15	26	15	16	49
消去又は全社	△ 4	△ 6	△ 4	13	12
営業利益	1,861	4,450	1,861	4,600	2,536

② 粗鋼生産量(JFEスチール)

	(単独ベース)	(連結ベース)
平成15年上期実績	1,341万t	1,516万t
平成15年下期実績	1,360万t	1,539万t
平成15年度通期実績	2,701万t	3,055万t
平成16年上期実績	1,394万t	1,580万t
平成16年下期見込み	1,372万t	1,552万t
平成16年度通期見込み	2,766万t	3,132万t

③ 鋼材輸出比率(JFEスチール, 単独ベース)

(金額ベース)

平成15年上期実績	40.7%
平成15年下期実績	40.4%
平成15年度通期実績	40.6%
平成16年上期実績	44.0%
平成16年下期見込み	42.3%
平成16年度通期見込み	43.1%

④ 為替レート(円/\$)前提

平成16年度 : 1円の円高に対して、19億円程度の減益  
(ドル収支では、19億\$ / 年程度の受取超過)  
但し、ほぼ全量を予約済みであり、影響軽微。  
計画は105円/\$で策定

⑤ 鋼材平均価格(JFEスチール, 単独ベース)

平成15年上期実績	50.5千円/t
平成15年下期実績	50.5千円/t
平成15年度通期実績	50.5千円/t
平成16年上期実績	57.7千円/t
平成16年下期見込み	65.2千円/t
平成16年度通期見込み	61.5千円/t

⑥ 有価証券含み損益(JFEホールディングス, 連結ベース)

平成15年上期末	405億円(含み益)
平成15年度末	690億円(含み益)
平成16年上期末	733億円(含み益)
平成16年末予想	1,100億円程度

⑦ 特別損益の内訳 (JFEホールディングス、連結ベース、単位:億円)

	平成16年度 通期見込み
退職給付引当金繰入額	△ 220
固定資産減損損失	△ 750
資産廃売却損益等	△ 530
合 計	△ 1,500

⑧ 借入金社債残高及び支払金利 (JFEホールディングス、連結ベース、単位:億円)

	借入金社債残高		支払金利
平成15年上期末	19,954	平成15年上期	△ 157
平成15年度末	18,374	平成15年度	△ 282
平成16年上期末	17,397	平成16年上期	△ 114
平成16年度末見込み	14,700 程度	平成16年度	△ 220

⑨ 設備投資と減価償却費 (JFEホールディングス、連結ベース、単位:億円)

	平成15年度 実績	平成16年度 見通し
設備投資額	1,608	1,400程度
減価償却費	1,856	1,820程度

⑩ 経常利益の増減内容 (平成16年度通期見通し、対平成15年度実績比較)

- a. 鉄鋼事業 +2,315億円 (2,085億円→4,400億円)
- (内容) コスト変動 +330 (金融収支も含めたコスト変動額は、+418)
- 為替レート △ 110 (レート 113.6→107.5(為替予約前) △6.1円円高  
別途営業外収益にて、為替予約差益有)
- 原料価格 △ 1,400
- 数量、構成、価格 +2,830 (オンリー1、ナンバー1等高級品の増加含む)
- 営業外など +139
- グループ会社他 +526 (電炉・資源・化学系グループ会社好調 他)
- b. エンジニアリング事業 +21億円 (54億円→75億円)
- (内容) 固定費削減に加え、環境事業等の売上が増加することにより、平成15年度実績に比べ増益の見通し。
- c. 都市開発事業 +6億円 (13億円→19億円)
- (内容) 分譲マンションの販売増などにより増益の見通し
- d. LSI事業 △30億円 (45億円→15億円)
- (内容) デジタルカメラ向け製品の販売減により減益

以 上